

## 千葉市 PTA 連絡協議会と教育委員との意見交換会（議事録）

### 1 日時

平成 30 年 10 月 17 日（水）16:10～17:30

### 2 会場

千葉市教育委員会事務局 第 1 会議室

（千葉市中央区問屋町 1-35 千葉ポートサイドタワー12 階）

### 3 出席者

- ・千葉市 PTA 連絡協議会役員等 9 人
- ・教育委員 4 人（磯野教育長、中野委員、和田委員、千葉委員）

### 4 意見交換会テーマ

防災・安全教育、防犯対策

「子供の安全・安心のために何をする必要があるのか、何ができるのか」

### 5 会議経過

#### （1）開会

#### （2）意見概要

- ・教育委員の発言者は次のように表記  
磯野教育長、中野委員、和田委員、千葉委員
- ・千葉市 PTA 連絡協議会出席者は PTA と表記
- ・事務局（司会者）は事務局と表記

◎会の冒頭で、PTA から子供たちの安全・安心に向けて、家庭や地域で行っている取組みや、学校教育や行政に望むことなどを述べていただいた。

#### PTA

●A 小学校では年に 2 回ほど、安全に関する取組みを行っている委員会があります。それとは別に、地域の方と学校の先生方と一緒に「地域パトロール」をする取組みもしています。これは、4 グループに分かれて学区の通学路の周辺や公園等を見て回って、危険な個所を確認する取組みです。全校の保護者が年に 2 回、指定された 1 週間のうち好きな時間に通学路の安全を調べています。また、皆さんから意見をいただいて、それについて集計して学校に返すという取組みもしています。

行政に望むことについては、歩道がないところや、歩道があるけれど電柱が立っているので幅が狭いところなどがあるので、通学路になっているところには歩道を作っていただきたいと思っています。

●B 小学校では、地域の方と保護者の方が 20 人程、セーフティーウォッチャー（以降 SW）登録

をしています。それとは別に校外補導部がありまして、20人程PTAの方が活動を行っています。校外補導部は月に1度、登下校時に通学路に立つ活動をしています。新1年生が入学したときから3日間は、一緒に登下校する活動もしています。社会福祉協議会の有志の方ですけれども、地域の方には自動車の通りの激しいところに毎週木曜日ついていただいて、子供たちの安全を見ていただいている体制ができています。

その中で問題だと感じているのが、大阪の地震で大きく取り上げられた「ブロック塀」のことで、通学路がブロック塀に囲まれて非常に細いところが多く、この道を通学路としてこれからも使っていくのか、それとも自動車の通りが多くても広いところに変更するのかということがPTAの方でも検討事項として上がっています。ブロック塀は個人の持ち物になりますので、PTAとして協力していただくよう発信していけるのか、もしくは、学校でも細かく把握していく必要があるのか、悩んでいるところです。

●C 小学校はPTAで朝のパトロールを行っております。また、月曜と木曜の朝数分ですけれども何か所かに立っており、それをPTAで順番制にして全員で行っています。A 中学校では、年に1回、保護者と先生で学区内をパトロールする「学年パトロール」を行っております。地域では、SWに毎日立っていただいているようで、かなりの登録があるようです。その中で、夕方にパトロールをして地域の人たちが見守ってくださっているのですが、やはり夕方に現れる不審者が問題になっています。地域の育成委員会でも、健全育成部で去年から朝のあいさつ運動を行っております。これは年に1回ですけれども、学校の校門に立たせていただいて子供たちに声をかけています。小中学校の統合もあったので地域で盛り上げている地域だと思っております。

●私たち保護者は常日頃思っているのですが、様々なテーマについて、行政、学校、地域、保護者の連携を親密に行っていくことが一番の近道かなと思います。D 小学校では、SWはじめ、学校の活動に地域の方々にも一緒に入っていただけて、学校や保護者にとっても非常にありがたいことだと感じています。そして、地域と連携するために、地域と保護者のパイプ役を担っていくのがPTAの一番の役割だと考えています。高齢者と下の世代に入っていけるのが50代の私たちだと思っております。防災の面でも学校が地域の要になっていくという部分もありますので、地域の方やSWとの連携を強くしていくことが一番いいのかなと思っております。

学校、行政に望むことというの、四者が親密に連携していくということが全てにおいて優先されることだと思っておりますので、行政、学校、地域の皆さんと一緒に協力していきたい、連携していきたいと思っております。

●子供の通っている学校でも、下校時の学区パトロールや通学路に立って声かけ運動をしています。十数年前に下校中の児童に「危ないよ」と声をかけたところ、次の日、小学校からの不審者情報に書かれてしまいました。声をかけた時間と場所から、まさに私だったということがありました。子供たちは「知らない人に声をかけられたら気をつける」という意識が強かったと思うのですが、自分が不審者になってしまうのだという衝撃を覚えました。そのとき、先輩ママさんから「PTAの保護者も地域のおばさんなのだから地域の人として顔を売らなさいよ」と言われましたので、子供の学校に行った時は、保護者のタグを付けて知らない子でも「こんにちは」と声をかけて、なるべく顔を覚えてもらえるように心がけております。

PTA では判断しかねるのかなと感じたことがありまして、それは、小学校に入ったら配られる「110 番のいえ」のプレートについてです。子供が中学生になったらやめていいのか、続けるのかということが PTA の中で話し合われたことがありました。プレートがかかっていた方が子供たちの安心に繋がるということであれば、子供が中学校に入っても続けてほしいというような、何か意思表示をした方がいいと思います。

●我が家は市境に近いところにありまして、四街道市に接しています。地域としては、育成委員会を中心に学区がまとまっているところです。育成委員会を中心に各 PTA と地域の皆さんに出たいて、パトロールや一声運動に取り組んでおります。パトロールは年に 2 回大規模なものを行っていて、全部の学区から出た役員さんがミックスでいろいろな場所を見に行きます。店舗であったり公園であったり通学路であったり子供たちの遊び場であったりするところを隈なく見るようにしています。そして、危険な場所があればそれを報告したり、お店の方ではご迷惑をかけていないか等、子供たちの様子を聞き、その後の活動に生かしています。夏ですと夏祭りのパトロールを行ったり、夜間のパトロールを年に 2、3 回行ったりしています。夜間のパトロールは中学校の保護者が中心で、小学校の保護者は通学路の整備ということで危険物を拾う等の活動をしています。地域自体は SW にすごく支えていただいている、通学路に朝と下校時に立ってくださる方が多くいます。SW では高齢化が進んでいまして、後継者を見つけるのが大変という声が上がっています。市境のため住宅が少ない地域があり、見守りが必要な場所なのに家がないので出てくださる人がなくて、大人の目が薄くなるという心配な場所がいくつかあります。地域の方に支えてもらっている地域なので、PTA としては地域の方と学校と保護者のパイプ役を務めるということと、地域の方々へ親の熱意を見せるというところもあるのかなと思っています。地域の方への感謝の気持ちを伝える場所がないので、PTA として地域の方たちと関わる時にはそういう気持ちを表せるようにすることを心がけています。

通学路に危険な個所があって車通りが多かったり狭かったり歩道がなかったりするので、警察が見に来てくれるのですが、見に来てくれる時間帯がいつも夏休みの朝 10 時くらいにいらっしやるので、子供たちが通っている時期の朝の時間を見ていただきたいと思っています。ぜひ、行政主導で警察に朝の時間帯の危なさを見ていただき、信号や横断歩道の整備に繋げて欲しいと思っています。近隣の市との連携についても支援していただきたいと思っています。

●B 中学校では、学区内のパトロールを育成委員会の方と協力して年に数回行っています。PTA 単独でも、毎朝ではありませんが当番制でお母さんたちが立つ日を決めています。PTA 郊外部は自治会の地区割になっているので、各地区で立てる範囲で立ってもらうようにしました。役員が変わってからは、やり方も少し見直しをしています。共働き家庭が増えてきて、朝夕立てる方が少なくなっていたり、当番制になっていても現状では立てていないことがあったり、難しさが影響していると思います。ただ、小学校では、SW の方がほぼ毎日立ってくださっていますので本当に助かっています。小学校の通学路を、週に 1、2 回だと思いますが警察がパトロールしてくれています。

今年も大雨や台風が多く、休校に関して悩みました。朝の 7 時に暴風警報が出たら休校ということになるのですが、大雨警報の時は一応行くということで、その境がすごく悩むところです。お手紙を見る限りでは、大雨警報のときは時間をずらしても大丈夫であると学校のきまりはあるのですが、この大雨の中学校に行かせるのか悩みます。大雨の場合も多々危険な場合もありまして、

普通の道でも冠水してひざ上くらいまで水がくるところもありますので、そのあたりも考慮していただいて、休校までしなくても学校対応としてどうするのかを見直していただければと思います。

●事前に区 P 連の理事の皆さんに今回のテーマについて情報をいただきました。今、皆さんが話しした取組みの他にも、様々な取組みを行っています。

同じ通学路の危険を見る目も「学校の先生目」「親目」「地域目」といろいろな視点があって、それを繋いでいかないといけないと感じています。通学路の合同点検にしても、地域と学校を繋ぐのは PTA の役員がやらないと動かないと考えています。また、地域の人に感謝していくという役割を、PTA の役員が率先して果たしていくべきだと感じています。これからも、行政と市 P 連が連携していきたいと思っています。

●E 小学校では、学校に泊ってみようという防災に関する意識を高めるための取組みが 4 年前から 2 回くらい行われています。土曜日の晩には、災害用の備蓄食料を食べたり AED の講習会を受けたりしています。体育館に泊まるという宿泊体験をしまして、翌朝は地域や PTA のお母様が温かい汁物などを作ってくれるようです。私の子供は地域が違うので参加できなかったのが残念だなと思っています。体育館に泊まるという宿泊体験は、防災意識を高めるのにとってもいいと思いますので、他の地域でも取り組んでいただけたらなと感じました。

#### 事務局

合同点検やパトロールをしている等たくさん紹介していただきました。また PTA 連絡協議会の事務局からは連携が大事ではないかという話もありました。

教育委員から感想や意見を伺います。

#### 和田委員

SW や保護者の方々がパトロールに立たれることがあるというお話ですが、それ以外に、それでも心配ということで、保護者の方が自分のお子さんを送り迎えしているというようなケースも最近ではあるのでしょうか。結構な割合でありますか。

#### PTA

●小さいお子さんがいたり、一人っ子だったりする家庭では、毎朝送っているというお母さんも結構います。

●物騒な地域ではないと思うのですが、それでも歩道のない通学路を通ってくるご家庭では、お母さんが一緒についてきたりしているようです。すごく心配している方は自動車で送られているケースもあるようです。

●小学校、特に 1 年生だと送迎されている方はいます。1 年生だと途中で力尽きてしまい、道端にしゃがみ込んでしまうこともあるようで、自動車で送迎するという家庭もあります。中学校でも学区が遠いエリアは自動車で送迎しているという家があると聞いています。そこはバスでの通学も認められているところなのですが、中学校からバス停まで歩いて 10 分から 15 分くらいかかってしまうので、結局迎えに行った方が早いということで自動車の送迎をしているようです。

#### 事務局

最近では保護者が自動車ですり迎えをしたり、朝一緒に登校したりする家が多いと聞きますよね。

#### PTA

●自動車での送迎は危ない面もありますね。学校の周辺が混雑してしまっていて、通学してくる子供たちと送ってきた自動車との距離が近くなってしまうところが危ないと感じています。

#### 和田委員

特に制限というのはないのですよね。

#### PTA

●おそらく学校としては送ってこないでくださいということになっていますよ。

#### 教育長

C 中学校の前は土地があるから、そこで降ろしてというようなことが多いのでしょうか。

#### 和田委員

中学校で自転車通学を許可していることがありますが、自転車通学に関して何か危険だと感じていることなどはありますか。マナーも含めて教えていただけますか。

#### PTA

●私の地域は、小学生の子が坂道が上がってくるのを見守るような中学生なので、比較的安全です。ただ、学校の対応で気になるのが、自転車通学をさせるには親が見守りをしなければ許可しないという縛りがあることです。これはこれで仕方がない部分もあるのですが、共稼ぎ家庭が増えてくる社会情勢の中で、それを強制するというのは学校にも一言言いたい部分もあり、学校と相談していかなければいけないところだと思っています。学校の言うこともわかる部分もありますので、今は様子を見ています。千葉市でそのような決まりになっているわけではないですよね。

●他中学校でも同様に自転車通学に関して保護者が見守りを行っていて、防犯の面でも効果があるのでありがたいという声もあります。

●市P連に加盟していないD中学校では、学区がとても広がっていて、自転車通学に関しては自治会が責任をもつということになっています。自治会と保護者で話し合いをして、自治会が自転車通学で通わせることを学校に伝えて実施しています。

#### 中野委員

緑区に住んでいます。小学校では特に雨の日などは車で送ってくる家庭があります。今はなくなりましたが、長い通学路の中間点にコンビニエンスストアがあって、1年生や2年生といった低学年の子供の休憩場所になっていました。子供を安全に守るという点で地域の力が大きいと思いますので、たくさんあるコンビニ等をうまく利用することも必要だと思います。怖いのは不審者で、

悪いことをしようとする人は常に狙っているわけですから、常に地域全体が子供を見ているという状況をつくらないと、なかなか犯罪が減っていかないのではないかと思います。

#### 事務局

現在千葉市では、不審者情報の報告件数が増加傾向にあります。SWがたくさん歩いているだけでも不審者は嫌がるということも聞きますけれども、皆様の方から何かありますか。

#### PTA

●私が住んでいる地域の取組みについて紹介します。ある統計では、共働きの現役世代が6割、無職の高齢世代の方々が2割くらいいるとありました。これからますます女性が社会へ進出するということがあって共働き家庭が増え、元気に現役で活躍している高齢世代の方々がいる中で、不審者への対応という部分で活躍していただきたいと考えているのが、2割いる高齢者世代の方々です。私たちが一番心配しているのが不審者でありまして、これを防いでいくためには抑止力を高めていくことが必要だろうと思い、3点考えています。

まず、自宅にいる高齢者の活用です。子供が学校から帰る時間帯に自治会の事務所に学校から電話してもらい、団地のアナウンスを活用して子供の下校を地域に知らせます。そして、見守り用のベンチに高齢者の方々に座っていただく。そのベンチに座っている方々は安全だから必ずあいさつをするように、学校から子供への指導をしてもらって、さらに家庭でもしっかり話しておく。こういうことを通して子供たちを守っていけるのではないかと思います。

2点目は、小さい子供に付き添っていく保護者がいますが、その方々にも統一した腕章のようなものを付けていただく。また、地域に根付いている企業とか団体の協力をいただく。夕刊を配達する新聞配達の方々、郵便局の方々、自転車で宅配している宅配業の方々、デリバリーの方々など、自動車ではなく自転車やオートバイを使用している方々のご協力をいただきながら、見守りを行えたらと思っています。

3点目は、千葉市で統一したマークを作って、見守ってくださる高齢者や送迎時の保護者、地域に根付いている企業の方々に身に付けてもらい、多くの方がその統一されたマークを身に付けるようにするという事です。また、学校では、そのマークを付けている人たちは、安全な人たちだからきちんとあいさつをすることを指導する。私たち保護者も、そういう方々は大丈夫な人たちだということをお子に伝えていく。学校でも家庭でも、安全な人にはきちんとあいさつをすることを指導する。あいさつや笑顔が多い地域は犯罪が減っていくということもあるようなので、統一したマークを多くの方が身に付けて、多くの方が見ることが出来る環境と、子供と地域の人がお互いに話かけやすい環境をつくっていくことが一番いいのかなと思います。

#### 千葉委員

通学路に関して、登校時は時間帯で規制していますが、帰りはないですね。学校に聞いたら下校時刻は学年によってまちまちだからと言っているけれども、子供たちは2時、3時、4時に帰っていきます。行きができるのだから帰りも警察と協力して、下校時の安全を確保することができたらいいと思います。

PTA にお聞きしたいのが、地域によってばらばらで、家庭によって熱心なところと忙しいからと言って旗振りにも出てこないところがあると思うのですが、そういう方々をどのように取り込んでいるのでしょうか。それとも参加できる人だけで活動しているのでしょうか、お聞きしたいと思います。強制はできないのですよね。

#### PTA

●強制はできないわけですから、ご理解をいただいて協力を募ることしかできないのが現状です。強制しているところもありますが、「順番だから必ず出てね」という言い方はなかなか難しいです。

●F 小学校では、全員が当番表に年間を通して入っています。年に1回か2回は必ず夕方に旗を持って通学路に立ち、終わったらパトロールをするという当番が決まっています。それは、家庭数によって回数が変わってきます。欠席の連絡がなくお休みする家庭もありますが、当番日の少し前に確認のお手紙を子供経由で出しています。SW が週3回、保護者が週2回ですから、低学年が帰る時間には必ず誰かが毎日立っているという状態になっています。

●G 小学校ですが、同じく年に1、2回小学校のパトロールがありまして、名前が表に書いてあります。旗とノートが前の当番から渡され、ノートに「パトロールをしました」「やりませんでした」と書いて次の人に渡します。ですから強制ではないですけど、ほとんどパトロールを行っています。共働き家庭の人もいるのですが、「10分でもいいから立って下さい」と言っています。正社員の方だと少しだけ出勤時間を遅らせるなどして、子供のために取り組んでいる地域です。

#### 事務局

強制的に行うのは難しいという意見もありましたがいかがですか。

#### PTA

●それを行うと、PTA 不要論が出たり、重荷になるとかそういう話になってしまったりすることもあるので、なかなか難しいです。千葉市 P 連も加入率が6割という状況になっていますので、あまり強いことを言うと PTA 離れに拍車がかかる恐れもあるので、難しいバランスです。

#### 和田委員

先ほど提案していただいた「統一したマークを」ということですが、その中で「見守る」という言葉をお使いになっていますが、今は「パトロール中」という言葉を使っています。「パトロール」というとすごく責任を感じてしまいますが、「見守る」という言葉のニュアンスはすごく柔らかいし、すごくいいなと感じました。

#### PTA

●子供も話しやすい、大人も声をかけやすい、そういう環境をつくっていくのがやはり一番いいのかなと思います。

#### 和田委員

だから子供 110 番は何かあった時に駆け込むということでハードルが多少上がりますけれども、

「見守る」という言葉はハードルが低いし理解も得やすいのではないのでしょうか。

**PTA**

●各学校の PTA も自治会もばらばらでマークを持っていると思うのですが、同じマークのものをみんなが使うことが大事だと思います。

**和田委員**

市 P 連は加入率が 6 割と言っていました、残り 4 割の学校でも同じマークを使うということですね。子供たちは同じ学区の中だけで活動しているとは限りませんから、千葉市内のどこにいても安心できるというのはすごくいいご提案だと思います。

**PTA**

●本当に同じマークであることに意味があると考えています。

**和田委員**

SW もそのマークをつけるということですね。

**PTA**

●そうです。自治会も同じマークを付けます。

**中野委員**

地域に根付いている企業とか団体の協力をいただくことに関して、夕刊を配達する新聞配達の方々、郵便局の方々、自転車宅配している宅配業の方々のご協力もいただきながらという話がありましたけれど、今、一番多く街を走っているのが介護カーです。デイサービスや訪問看護などの送迎で結構不便なところまで行きますし、日中同じ時間帯で動いていますので、今は「見守り中」のマークを貼りながら走っているけれど、地域の全事業所で同じマークを付けてもらうだけでも効果があると思います。それに、子供たちが通ったら声をかけてもらうようにして、挨拶をしたり注意してもらったりしたらいいですね。

**事務局**

不審者に対する抑止力を高める方策として、貴重な提案をいただきました。教育委員会からは学事課から「セーフティウォッチャー」という黄色い腕章を配付しています。

**和田委員**

そういった方たちからいただく情報の共有の仕方というのを、これから考えていかないといけないのではないかと思います。範囲を広げれば広げるほど雑多な情報が入ってきて、その真偽を確かめるのが難しいかと思うのですが、安全・安心メールから不審者情報が流れてきますし、情報の共有の方法とか地域で工夫されていることとか、もう少し行政で全市的に流してくれたらいいとか、そういうことはありますか。

**PTA**

●情報はあり過ぎてどうかと思います。情報が届き過ぎて困るし、個人的には難しいと思います。

●中央区ですが、離れたところの情報もたくさん入ってきてしまうので、学区とかに限定して受信できたらいいと感じています。中学校区くらいの範囲だとありがたいです。

**PTA**

●小学校1年生に防犯ブザーを千葉市が貸し出すことをされていますよね。うちの娘の高校では、痴漢などの被害もあるので鞆に防犯ブザーをつけなさいと配布しています。小学1年生で配られるとピーピー音が鳴るので、1年生ではなくて、中学1年生ぐらいに渡してほしいと思っています。そうしたら学校の鞆などに付けて、帰りに不審者に会ったときに鳴らすことができると思います。今のこういうご時世なので、配布する年齢を変えて中学1年生になった時点で渡してもら方がいいといつも思っています。

**中村委員**

けがのことですが、医師会の方で休み時間でも学校からけがの連絡があった場合は、積極的に診ていきましょうという話をしています。それに関しては今実際、どうなっていますか。病院の休み時間にけがをして診てもらえなくて困ったとか、何か困っていることはあるのでしょうか。

**PTA**

●私の子供は大したけがではなかったのですが、医者に連れて行ってくれました。学校の対応が非常に良く、学校の先生方というのは子供のことを本当に大切にしてくださっていると感じています。

**PTA**

●以前うちの子が、お昼休みにサッカーボールが当たって頭痛を訴えていると連絡をいただいたことがありました。そのとき、どこの病院に連れていいたらよいか分からなくて困りました。

**中野委員**

医師会から出している「わたしのまちのお医者さん」という冊子があるのですが、千葉市のホームページからも閲覧できて、地区ごとに診療科など書いてあります。ホームページで探してもらって病院を見つけることもできますし、けがが起きる前に前もって病院を調べておくことも大事かもしれません。

**PTA**

●内科、外科や歯科などは、特にかかりつけがなくても校医の先生がいらっやって、自分も心当たりがなければそこで診てもらおうかと思うのですが、脳外科など校医ではない科だとどうしたら

よいのかわからないので、そういう情報が得やすくなるとわかりやすいと思います。

#### 中野委員

一般の校医では内科小児科が多いと思いますけども、そういった場合でもまずは校医に相談してください。校医から紹介してもらうのが良いと思います。

#### 千葉委員

さっきのブザーの件ですけれど、小さい子は物申せないし、怖くて逃げられない時にブザーが生きてくると思います。そういう意味では小さい子に渡すことが意味があるのです。うちの子もピーピー鳴らしていましたが、それが逆に「子供はブザーを持っている」という抑止力にもなっていると思うので、まずは小さい子に配ることがいいと思います。

#### PTA

- そうだと思います。
- うちの学校は中学校でも付けています。
- 配っていただかなくても「各家庭で用意して付けましょう」というようなお知らせがあると、付けていいんだと思うことができます。むしろ、うちの中学では鞆に付けていいのはキーホルダー1個までで、それ以外に付けてはいけないと思っているところはあったので、中学生でも防犯ブザーを付けていいというのは結構驚きました。女の子がいる家庭では、付けていいんだよというお知らせがあるだけでも安心するかもしれないですね。
- 今は男の子も危ないですからね。

#### 事務局

最後に教育長からお願いします。

#### 教育長

今日はお忙しい中ありがとうございました。日頃からお忙しい中、市P連はもとより単Pの中でもいろいろな形で本市のためにサポートしていただいていることに対して、改めてお礼申し上げます。

基本は、子供たちの安全に関して「地域で守り育てる」「守る」ということから「育てる」という部分も含めてこれまで提唱してきました。平成28年に定めた第2次学校教育推進計画の中で、学校・家庭・地域・行政という四者の関係を改めて強く謳ったところです。これからも四者連携で事業を展開していこうと考えていますので、何卒お力添えをお願いします。

SWについて、これから統一したシンボルマークを作ることに关しては、今後検討して参ります。高齢化とともに、女性の方の就労の機会が増えたということで、今はSWの数が減ってきており、いろいろな面で協力してくれる方が減ってきている状況です。政府の統計でも、新1年生の保護者の就労率が10数%上がっています。自分の子供が1年生であっても働きに出なくてはならないという状況にあるということがまさに変わってきている中で、今後この点にどう対応していくかとい

うことが課題としてあります。町内自治会でさえ当番が嫌だから入りたくないという状況や強制すればみんな逃げていく状況の中で、そこにボランティアの精神があって地域で守り育てるという観点があれば、皆さんのように積極的に取り組んでくれますが、そうではない方もいる中でできる限り協力させていただきたいし、こども未来局とも連携していかなければいけないと強く感じたところです。

地域で守り育てるという中で一番感じているのが、地域の活動をしていると管理職しか出てこない学校が多いということです。もっと若い先生が入っていかないと、なかなか繋がっていかないと。若い先生方が地域のお祭りやイベント等に出て来て、地域と繋がりを持たないと連携という話にはならないということがありますので、校長会とも意見交換する中で取組みを進めていきたいと思っております。

警報と自転車通学の件についてはお預かりさせていただきます。

今年の夏の酷暑が災害だという国の発言があったということは、災害であるから学校で休校と決めていいわけです。36℃以上あるから警報を出して休みとしてもいいわけです。しかし、警報を出すかどうかということも一方で重要視しなくてはならない。暑さ対策については、エアコン設置という方向に大きく舵をきって2020年までにつけようと鋭意努力しております。

防犯ブザーについては、いろいろな意見があると思います。基本的には地域で子供を守り育てると同時に、自分の身は自分で守るという観点を教えていかなければいけない安全教育もあります。子供の安全・安心については、防犯ブザーだけでいいというわけではないのですが、今までの中で支障がなければそれを継続していきたいと思っておりますし、中学校で付けていいか悪いかについても取り組んでまいりたいと思っております。

今年、学校がそれぞれの対応をすることも必要な中で、教育委員会の方針が学校に浸透せず、いろいろな面で統一できなかったという課題もはっきりしましたので、このことについても検討していきたいと思っております。

高齢者率も高くなって高齢者の力をどこまで活用できるのかという意見もあるし、各家庭で自分が最低限協力できる部分については協力しようというスタンスでいただければいいように、私たちも保護者に働きかけていきますし、行政の中でもそういうことをしっかりと行っていきたいと思っております。

#### **事務局**

四者が連携して取り組んでいくことを共通理解することができたと思っております。また、いくつか課題が出ましたが、それについては教育委員会の中で検討していきたいと思っております。

本日は大変有意義な意見交換ができたと思っております。

以上をもちまして意見交換会を終了いたします。